

FULL DOUBLE HORN

フルダブルホルン



801



6801



※仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがあります。

■ラッカー仕上げについて

ラッカー塗装の材質は樹脂のため、ご使用にともない摩耗したり、剥離する場合があります。また、経年変化により金属が変色する場合があります。いずれの場合もご使用には影響ありませんが、金属の腐食・摩耗が激しい場合はお買い上げ店または弊社テクニカルサポートへご相談ください。



ラッカー仕上げ

■ご注意ください

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 小さな部品を誤飲する恐れがあるため、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 針のように鋭い部品を使用していますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- 破損がある場合は、使用を中止してください。

取り扱い説明書

〈ハンス・ホイヤー〉
ホルン



BUFFET CRAMPON

株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパン

〒135-0016 東京都江東区東陽4-8-17
TEL.03(5632)5511 FAX.03(5632)5526

ショールーム TEL.03(5632)5728

テクニカルサポート TEL.03(5632)5524

営業時間 10:00~17:30 (日・月曜日、祝日定休)



※営業時間は天候災害、社会情勢の変化に伴い変更する場合がございます。最新の情報はブランドウェブサイトをご確認ください。

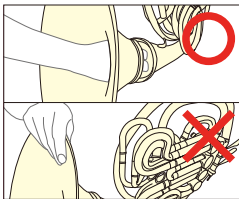
www.hans-hoyer.com/ja/

BUFFET CRAMPON

■演奏前の準備

【スクリューベルのセット】

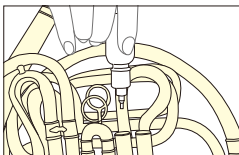
ベルの中央部分を持ち、スクリューベルを組み立てます。ベルを強く締めたり急いで組み立てると、スクリューが食い込みベルが外れなくなる原因となります。



組み立てる際は丁寧にゆっくり組み立てるようにしましょう。

【ロータリーオイルの注油】

- 1.レバーを押しながら抜差管を取り外し、図のようにロータリーバルブオイルをロータリーにさします。
(1箇所あたり2～3滴)



レバーの動きが悪くなった時に、この注油を行ってください。管体内側についているグリスがオイルと混ざらないように注油してください。

- 2.レバーを動かし、オイルをなじませます。

【マウスピースの取り付け】

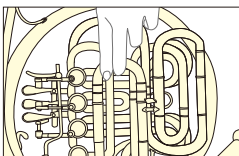
マウスピースを軽く差し込みます。
強く差し込むと、抜けなくなることがあるので注意しましょう。

■ピッチの調整

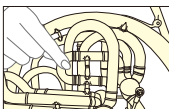
ピッチの調整は、必ず主管抜差管をスライドさせて行います。

ピッチは気温に影響されるので、演奏前に十分に息を吹き込んで楽器を温めてから調整してください。

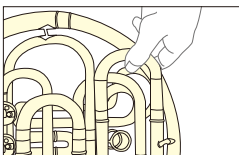
- 1.主管抜差管をスライドさせてB^b管を調整します。



B^b管抜差管のある楽器は、主管抜差管を調整後、B^b管抜差管も調整してください。



- 2.F管抜差管をスライドさせてF管を調整します。



■演奏前の点検

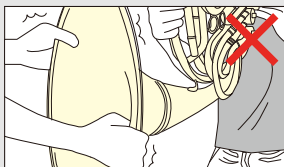
息漏れをしていませんか？

ウォーターキーのパッドが劣化していると息漏れが生じる場合があります。新しいパッドに交換してください。

ネジ類がゆるんでいませんか？

ロータリーキャップなどのネジ類がゆるんでいると金属音の原因になります。ネジ類はきちんと締めてください。

■こんな時は



ベルが外れない

ベルが外れない時は、自分で無理に外そうとせず、お買い上げ店、または弊社テクニカルサポートまでご相談ください。

※強くひねる力が加わると、管体にねじれやゆがみが発生し、大がかりな修理が必要になる場合があります。

抜差管はまっすぐ抜き差し

抜差管は2本の管で構成されています。両方の管に均等な力が加わるようにまっすぐ抜き差ししましょう。特に短い管は抜きにくいので注意して抜き差ししてください。

■演奏後のお手入れ

【水抜きとロータリーバルブオイルの注油】

- 1.レバーを押しながら各抜差管を取り外し、管内の水分を十分に抜いてください。
- 2.ウォーターキーを持つ楽器は、ウォーターキーからも水分を十分に抜いてください。
- 3.演奏前と同様にロータリーバルブオイルをロータリーにさしてください。

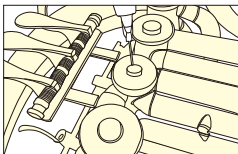
【楽器表面のお手入れ】

楽器の表面をクリーニングクロスでやさしく拭いてください。

■定期的なお手入れ

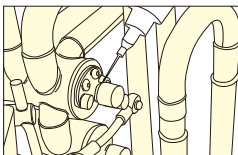
【ロータリーのお手入れ】▶

- 1.ロータリーバルブのキャップを外し、ロータリーの中央と軸を支えている部分に、キー&ローターオイルを少量さします。

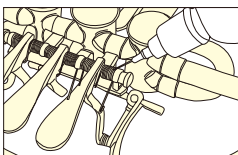


その後、余分なオイルは拭き取りましょう。オイルを指し終わったら、キャップを閉めてオイルがよくなじむようにレバーを動かしましょう。もしもオイルが重たいと感じる場合は、バルブオイルなど軽いオイルをお試しいただく事をおすすめします。

- 2.ロータリー回転軸と軸受けにも同様に、キー&ローターオイルを少量さします。



- 3.レバーの支持台の軸受け部には、キー&ローターオイルを少量さしてください。



【各抜差管のお手入れ】▶

- 1.各抜差管の古いグリスを拭き取り、新しいスライドグリスを塗ります。
- 2.抜差管にグリスをなじませるように2～3回スライドさせてください。

【マウスピースのお手入れ】

マウスピースは、マウスピースブラシに中性洗剤を含ませ、内部にブラシを通した後、きれいな水で十分に洗い流してください。

■楽器の洗浄

管内の汚れがひどい場合や、砂埃などの異物が混入した場合は、お買い上げ店または弊社テクニカルサポートへご相談ください。

■その他

【ロータリー糸の結びかた】

ロータリー糸の巻き付けおよび調整は、初心者には難しい作業です。管楽器技術者にご依頼ください。

■取り扱いの注意

錆(サビ)に注意しましょう。

ロータリーキャップは水分により錆が生じやすい部分です。キャップを締めたまま長時間放置することなく、定期的に関閉めをしましょう。

■こんな時は

お買い上げ店または弊社テクニカルサポートにご相談ください。

衝撃でゆがんでしまった。

衝撃を受けると管体がゆがんだり、可動部が変形して動作不良の原因となる場合があります。

異物が取れない。

管内にさまざまな異物(バルブオイル、クロス等)などが入り込み、取れなくなることがあります。

ハンダが外れてしまった。

ハンダが外れていると金属が共振し、異音が生じる場合があります。

▶ロータリーバルブは、マイクロ単位による精密な加工により製作されています。お取り扱いには充分ご注意ください。
ロータリーバルブに汚れがたまると動作不良の原因となります。定期的なお手入れを心がけてください。